

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年1月6日
【四半期会計期間】	第52期第2四半期（自平成25年8月16日 至平成25年11月15日）
【会社名】	株式会社ツルハホールディングス
【英訳名】	TSURUHA HOLDINGS INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鶴羽 樹
【本店の所在の場所】	札幌市東区北24条東20丁目1番21号
【電話番号】	(011)783-2755
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 管理本部長 大船 正博
【最寄りの連絡場所】	札幌市東区北24条東20丁目1番21号
【電話番号】	(011)783-2755
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 管理本部長 大船 正博
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期連結 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成24年5月16日 至平成24年11月15日	自平成25年5月16日 至平成25年11月15日	自平成24年5月16日 至平成25年5月15日
売上高(百万円)	172,508	183,682	343,019
経常利益(百万円)	13,069	12,714	23,821
四半期(当期)純利益(百万円)	7,229	7,502	13,461
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	8,098	7,839	17,033
純資産額(百万円)	95,944	110,490	104,138
総資産額(百万円)	151,511	172,302	162,708
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	306.31	314.75	568.43
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	303.84	311.18	563.73
自己資本比率(%)	63.0	63.7	63.7
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	8,910	8,189	14,134
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	6,592	598	18,874
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	936	2,481	1,783
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	34,493	32,895	26,589

回次	第51期 第2四半期連結 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年8月16日 至平成24年11月15日	自平成25年8月16日 至平成25年11月15日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	137.87	145.30

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでいません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年5月16日～平成25年11月15日）における経済情勢は、輸出や生産などにおいて回復の動きがみられ、個人消費の持ち直しへの期待が高まっているものの、景気回復の実感には至っておらず、海外景気の下振れリスクなどもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。ドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が引き続き激化しているほか、生き残りをかけた企業の統合・再編への動きがさらに強まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループではコンサルティングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、戦略的な営業施策を実施いたしました。

具体的には、お客様のニーズに対応する高付加価値商品のコンサルティング販売に注力したほか、高品質で低価格のプライベートブランド商品「M's one（エムズワン）」の積極的な展開、再来店の促進や販売点数の増加を意識した新たな販促手法の導入などが功を奏しました。上期においては大型台風の上陸や長雨などの天候不順による影響があったものの、既存店売上高は前年を上回る実績となりました。

店舗展開につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より51店舗の新規出店と11店舗の閉店を実施いたしました。また、平成25年8月16日付で（株）ウエダ薬局の完全子会社化により14店舗がグループに加わったほか、平成25年7月1日付でかねまん薬局総本店マルモ薬品（株）の3店舗、および平成25年10月1日付で（株）かもめの15店舗の事業譲受を行いました。この結果、当第2四半期末のグループ店舗数は直営店で1,146店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

（単位：店舗）

	前期末 店舗数	出店	閉店	子会社化等	純増	第2四半期末 店舗数	うち 調剤薬局
北海道	328	10	7	-	3	331	59
東北	350	20	-	-	20	370	59
関東・甲信	326	17	3	3	17	343	98
中部・関西	18	1	1	14	14	32	5
中国・四国	52	3	-	15	18	70	16
国内店舗計	1,074	51	11	32	72	1,146	237

上記のほか、海外店舗11店舗、F C加盟店舗1店舗を展開しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,836億82百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益119億75百万円（同2.3%増）、経常利益127億14百万円（同2.7%減）、四半期純利益75億2百万円（同3.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて95億94百万円増加し、1,723億2百万円となりました。おもな要因は、新規出店に伴う棚卸資産と差入保証金等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて32億42百万円増加し、618億11百万円となりました。おもな要因は、新規出店に伴う買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて63億52百万円増加し、1,104億90百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と変わらず63.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて63億6百万円増加し、328億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、81億89百万円(前年同期比8.1%減)となりました。これはおもに、税金等調整前四半期純利益126億96百万円となったことと仕入債務36億73百万円の増加等のプラス要因、法人税等の支払額56億11百万円とたな卸資産34億51百万円の増加等のマイナス要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、5億98百万円(前年同期65億92百万円使用)となりました。これはおもに、有価証券の売却による収入50億円、新規出店に伴う差入保証金の支出24億82百万円、有形固定資産の取得による支出14億44百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、24億81百万円(前年同期9億36百万円使用)となりました。これはおもに、配当金の支払19億4百万円、借入金の返済8億25百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,000,000
計	76,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年11月15日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年1月6日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	24,031,034	24,035,434	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	24,031,034	24,035,434	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成26年1月1日から、この四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

当第2四半期会計期間において発行した新株予約権は、次のとおりであります。

2013年新株予約権

決議年月日	平成25年9月3日
新株予約権の数(個)	93
新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)	-
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	9,300
新株予約権の行使時の払込金額(円)	1
新株予約権の行使期間	自 平成25年9月28日 至 平成45年9月27日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 7,413 資本組入額 3,707
新株予約権の行使の条件	(注)1
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡による募集新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要する。
代用払込みに関する事項	-
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	-

- (注) 1 (1) 新株予約権者である当社の取締役、監査役および執行役員ならびに当社子会社の取締役、監査役および執行役員は、それぞれの会社において、取締役、監査役および執行役員のいずれの地位をも喪失した日の翌日から募集新株予約権を行使することができる。
- (2) 上記(1)に従い本新株予約権を行使する場合、新株予約権者は権利行使開始日から5年を経過する日までの間に限り、本新株予約権を行使することができる。
- (3) 上記(1)および(2)にかかわらず、新株予約権者は、以下のア)またはイ)に定める場合には、それぞれに定める期間内に限り本新株予約権を行使することができる。
- ア) 新株予約権者が平成44年9月27日に至るまでに権利行使開始日を迎えなかった場合
平成44年9月28日から平成45年9月27日まで
- イ) 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、または当社が完全子会社となる株式交換契約もしくは株式移転計画承認の議案につき当社の株主総会で承認された場合(株主総会決議が不要な場合は、当社の取締役会決議がなされた場合)
当該承認日の翌日から15日間
- (4) 新株予約権者が募集新株予約権を放棄した場合には、当該募集新株予約権を行使することができない。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年8月16日～ 平成25年11月15日	8,400	24,031,034	18	7,334	18	40,617

(注) 1. 新株予約権行使による増加であります。

2. 平成25年11月16日から平成25年12月31日までの間に、新株予約権の行使により発行済株式総数が4,400株、
資本金および資本準備金がそれぞれ9百万円増加しております。

(6)【大株主の状況】

平成25年11月15日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
イオン株式会社	千葉県美浜区中瀬1丁目5-1	3,156	13.13
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,288	5.35
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,100	4.58
鶴羽 肇	札幌市北区	706	2.94
鶴羽 弘子	札幌市北区	706	2.93
長嶋 利佳子	北海道旭川市	706	2.93
鶴羽 樹	札幌市厚別区	703	2.92
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー(常任代理 人 シティバンク銀行株式会社)	東京都品川区東品川2丁目3番14号	701	2.91
小川 久哉	千葉県鎌ヶ谷市	700	2.91
ステート ストリート バンク ア ンド トラストカンパニー(常任代 理人 香港上海銀行東京支店)	東京都中央区日本橋3丁目11-1	626	2.60
計	-	10,396	43.26

(注)1. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)の所有株式数は、全て信託業務に係るものです。

2. フィデリティ投信(株)から平成25年7月4日付で提出されました大量保有報告書(変更報告書)により、平成25年6月28日現在における当社株式を以下のとおり所有している旨の報告を受けておりますが、当社では第2四半期会計期間末における当該法人名義での実質所有株式数が確認できませんので、上記の表には含めておりません。

なお、当該大量保有報告書(変更報告書)の写しの内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
フィデリティ投信(株)	東京都港区虎ノ門四丁目3番1号 城山トラストタワー	34	0.14
エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	米国 02210 マサチューセッツ州ボストン、 サマー・ストリート245 (245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA)	962	4.01
計		996	4.15

3. 三井住友信託銀行(株)から平成25年11月7日付で提出されました大量保有報告書(変更報告書)により、平成25年10月31日現在における当社株式を以下のとおり所有している旨の報告を受けておりますが、当社では第2四半期会計期間末における当該法人名義での実質所有株式数が確認できませんので、上記の表には含めておりません。

なお、当該大量保有報告書(変更報告書)の写しの内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	948	3.95
三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)	東京都港区芝三丁目33番1号	26	0.11
日興アセットマネジメント(株)	東京都港区赤坂九丁目7番1号	222	0.93
計		1,197	4.98

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年11月15日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,022,100	240,221	-
単元未満株式	普通株式 6,134	-	-
発行済株式総数	24,031,034	-	-
総株主の議決権	-	240,221	-

(注)「従業員持株会連携型E S O P」による信託所有の株式170,900株(議決権の数1,709個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」の欄に含めて表示しております。

【自己株式等】

平成25年11月15日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
㈱ツルハホールディングス	北海道札幌市東区北24条東20丁目1-21	2,800	-	2,800	0.01
計	-	2,800	-	2,800	0.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年8月16日から平成25年11月15日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年5月16日から平成25年11月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,110	10,617
売掛金	8,155	9,115
有価証券	29,499	32,299
商品及び製品	44,406	48,100
原材料及び貯蔵品	16	8
繰延税金資産	1,813	1,863
短期貸付金	86	21
その他	6,287	5,419
流動資産合計	102,376	107,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,507	8,583
機械装置及び運搬具(純額)	2	2
工具、器具及び備品(純額)	2,902	3,592
土地	2,487	2,749
リース資産(純額)	89	72
建設仮勘定	196	125
有形固定資産合計	13,185	15,124
無形固定資産		
のれん	9,765	9,713
ソフトウェア	309	275
その他	120	257
無形固定資産合計	10,195	10,246
投資その他の資産		
投資有価証券	11,691	12,366
長期貸付金	38	27
繰延税金資産	514	631
差入保証金	22,933	24,215
その他	1,834	2,303
貸倒引当金	60	60
投資その他の資産合計	36,950	39,483
固定資産合計	60,331	64,855
資産合計	162,708	172,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,421	40,367
短期借入金	838	572
未払金	5,381	5,078
未払法人税等	5,153	4,798
賞与引当金	2,132	2,291
役員賞与引当金	365	191
ポイント引当金	1,063	1,060
その他	1,040	974
流動負債合計	52,396	55,335
固定負債		
繰延税金負債	3,500	3,698
退職給付引当金	425	460
役員退職慰労引当金	15	-
資産除去債務	906	955
その他	1,325	1,361
固定負債合計	6,173	6,476
負債合計	58,569	61,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,260	7,334
資本剰余金	22,929	23,083
利益剰余金	67,133	72,731
自己株式	779	716
株主資本合計	96,543	102,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,048	7,385
その他の包括利益累計額合計	7,048	7,385
新株予約権	546	672
純資産合計	104,138	110,490
負債純資産合計	162,708	172,302

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
売上高	172,508	183,682
売上原価	123,988	131,586
売上総利益	48,519	52,095
販売費及び一般管理費	36,817	40,120
営業利益	11,702	11,975
営業外収益		
受取利息	77	90
受取配当金	69	73
備品受贈益	181	393
受取賃貸料	50	55
受取補償金	388	47
受取保険金	541	9
その他	84	81
営業外収益合計	1,392	750
営業外費用		
支払利息	7	6
貸倒引当金繰入額	18	0
その他	0	5
営業外費用合計	26	11
経常利益	13,069	12,714
特別利益		
固定資産売却益	0	-
新株予約権戻入益	73	-
特別利益合計	74	-
特別損失		
固定資産除却損	59	13
固定資産売却損	-	0
減損損失	676	-
リース解約損	2	-
投資有価証券評価損	24	-
その他	6	4
特別損失合計	769	18
税金等調整前四半期純利益	12,374	12,696
法人税、住民税及び事業税	5,245	5,254
法人税等調整額	100	60
法人税等合計	5,144	5,194
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	7,502
四半期純利益	7,229	7,502

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	7,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	868	336
その他の包括利益合計	868	336
四半期包括利益	8,098	7,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,098	7,839
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,374	12,696
減価償却費	1,050	1,111
減損損失	676	-
のれん償却額	549	574
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(は減少)	203	158
役員賞与引当金の増減額(は減少)	163	173
退職給付引当金の増減額(は減少)	38	35
ポイント引当金の増減額(は減少)	135	2
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	-	15
受取利息及び受取配当金	146	163
受取補償金	388	47
受取保険金	541	9
支払利息及び割賦利息	7	6
備品受贈益	181	393
固定資産除却損	59	13
固定資産売却損益(は益)	0	0
投資有価証券評価損益(は益)	24	-
新株予約権戻入益	73	-
売上債権の増減額(は増加)	351	874
たな卸資産の増減額(は増加)	1,543	3,451
仕入債務の増減額(は減少)	2,074	3,673
未払消費税等の増減額(は減少)	40	202
その他	56	696
小計	13,415	13,632
利息及び配当金の受取額	107	117
保険金の受取額	541	9
補償金の受取額	388	47
利息の支払額	7	6
法人税等の支払額	5,534	5,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,910	8,189

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1	0
定期預金の払戻による収入	3	-
有価証券の取得による支出	5,000	5,000
有価証券の売却による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	1,067	1,444
有形固定資産の売却による収入	20	-
ソフトウェアの取得による支出	103	70
投資有価証券の取得による支出	0	153
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	4
事業譲受による支出	-	1,132
貸付金の回収による収入	11	75
差入保証金の支出	1,157	2,482
差入保証金の返還	627	720
その他	75	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,592	598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	838	572
短期借入金の返済による支出	1,120	1,054
長期借入金の返済による支出	-	342
リース債務の返済による支出	17	18
新株発行による収入	729	121
自己株式の売却による収入	126	145
自己株式の取得による支出	0	1
配当金の支払額	1,470	1,904
その他	23	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	936	2,481
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,382	6,306
現金及び現金同等物の期首残高	33,111	26,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,493	32,895

【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入及び仕入債務に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年5月15日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
㈱ウエダ薬局	4百万円	Tsuruha(Thailand)Co.,Ltd	14百万円

連結子会社の㈱ツルハは一部の店舗の差入保証金(前連結会計年度の差入保証金562百万円、当第2四半期連結会計期間の差入保証金535百万円)について、金融機関および貸主との間で代位預託契約を締結しており、当該契約に基づき、金融機関は、貸主に対して差入保証金相当額(前連結会計年度の差入保証金相当額562百万円、当第2四半期連結会計期間の差入保証金相当額535百万円)を同社に代わって預託しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)
従業員給料及び手当	14,167百万円	15,601百万円
賞与引当金繰入額	2,144	2,291
役員賞与引当金繰入額	188	191
退職給付引当金繰入額	43	49
地代家賃等	8,814	9,617
ポイント引当金繰入	46	2

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)
現金及び預金勘定	15,916百万円	10,617百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	22	21
有価証券	23,600	32,299
償還または契約期間が3ヶ月を超える有価証券	5,000	9,999
現金及び現金同等物	34,493	32,895

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月19日 取締役会	普通株式	(注)1,483	62.5	平成24年5月15日	平成24年7月24日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株会連携型ESOPの信託口に対する配当金14百万円を含めております。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月18日 取締役会	普通株式	(注)1,196	50.0	平成24年11月15日	平成25年1月15日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株会連携型ESOPの信託口に対する配当金10百万円を含めております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月18日 取締役会	普通株式	(注)1,919	80.0	平成25年5月15日	平成25年7月23日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株会連携型ESOPの信託口に対する配当金14百万円を含めております。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月17日 取締役会	普通株式	(注)1,561	65.0	平成25年11月15日	平成26年1月14日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株会連携型ESOPの信託口に対する配当金11百万円を含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・化粧品等を中心とした物販事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

重要な事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	306円31銭	314円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	7,229	7,502
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	7,229	7,502
普通株式の期中平均株式数(株)	23,602,999	23,834,772
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	303円84銭	311円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	192,321	273,994
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	新株予約権1種類(新株予約権の数 3,640個)	

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は平成25年11月21日開催の取締役会において、広島県を中心とした中国地方でドラッグストアと調剤薬局を展開する株式会社ハーティウォンツ（以下、「ハーティウォンツ」といいます）の株式を取得することについて決議し、同日株式会社リサ・パートナーズの100%子会社である株式会社リサ・キャピタル・マネジメントが運営するリサ・コーポレート・ソリューション・ファンド2号投資事業有限責任組合（ハーティウォンツの株式の56%を所有）との間で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ハーティウォンツ
事業の内容 ドラッグストア、調剤薬局の経営

(2) 企業結合を行うおもな理由

ハーティウォンツは、広島県を中心とした中国地方に計140店舗（平成25年11月15日現在）のドラッグストア「Wants」と調剤薬局「ウォンツ薬局」を展開し、中国地方では業界トップクラスの規模と知名度を誇っているなど、着実に成長を続けております。ハーティウォンツの店舗展開は広島県や山口県を中心に圧倒的なドミナント化を実現しており、中国地方では鳥取県や島根県を中心基盤とする当社グループの店舗展開とは非常に優れた補完関係にあります。また、同社はお客様からの信頼感を大切に考え、ヘルス&ビューティケアへのお客様のニーズやウォンツに応えることを事業経営の核として、地域から頼りにされ地域になくはないドラッグストア創りを目指しており、当社グループの「お客様の生活に豊かさや余裕を提供する」という経営理念を共有し、その実現に取り組むことのできる企業であると判断いたしました。

(3) 企業結合日

平成25年12月20日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 企業結合後の名称

株式会社ハーティウォンツ

(6) 取得する議決権比率

56.0%

(7) 取得企業を決定するに至ったおもな根拠

現金を対価とする株式取得

2. 被取得企業の取得原価およびその内訳

取得の対価 10,100百万円

取得に直接要した費用 27百万円

合計 10,127百万円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。

2【その他】

平成25年12月17日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決定しました。

配当金総額	1,561百万円
1株当たり配当金	65円00銭
効力発生日	平成26年1月14日

(注)平成25年11月15日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月27日

株式会社ツルハホールディングス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 関谷 靖夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 毛利 篤雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊藤 揮誉浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツルハホールディングスの平成25年5月16日から平成26年5月15日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年8月16日から平成25年11月15日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年5月16日から平成25年11月15日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツルハホールディングス及び連結子会社の平成25年11月15日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成25年11月21日開催の取締役会において、株式会社ハーティウォンツの株式を取得して子会社とすることを決議し、平成25年12月20日に同社の株式を取得した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。